

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ
〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報係(内線417) へどうぞ。

堤防が転ぶ③

《前号の続き》

高橋さんは「山崎よ、俺が帰る時には全部お前に置いて行くからな!」といつも話しておられたが、俺の長期不在の間に北の方の現場へ転勤の由、至極無念残念であった。

今俺の手中に有ったとしたら最高の宝物であろうと思っている。高橋さんに津波の経験があったかどうか聞いていなかったが、今思いついてみれば事務所のお茶はいつも津波の話、今盛んに行っている工事そして工法の説明であった。

高橋さん、早く堤防

出来ればいいがなんす。うんだがどうしてよ——。

早く堤防が出来ていれば津波が来ても堤防が有るから集落中大安心と申し上げましたら、「山崎、その考え間違っているぞ!」と言われ、何が何だか分からなかった。何が間違っているのか、完全安心に生きたがために

との堤防が全然分かんなかった。山崎、確かにその通りであるが現実とは違う場合がある——と、高橋さんにその話を聞いて俺は愕然とした。

受賞

山崎 卓三(大浦・?)
《次号へ続く》



第37回「宮古地方交通安全対策連絡協議会」会長表彰を、大沢地区交通安全母の会も受賞しました。これもひとえに先輩役

員の方と会員の皆さまが長い間培ってきた業績の賜物だと思います。

今、町では復旧工事が始まり、大型トラックや工事関係の車両が、いつもより多く走行しております。母の会では、歩行するお年寄りや子どもたちが「正しい交通ルール」を守るため、交通安全の啓発運動に協力して参りたいと思います。

先輩方に、今後とも御指導をよろしくお願い申し上げます。ご報告とさせていただきます。

大沢地区交通安全母の会・大川ヒメ子(大沢・70)

小さいコスモス園

昨年の晩秋、咲き終わったコスモスのあと始末。茎が細いわりに根がはりつめていました。個所かしよに積み重ねて冬越し、ことしの春、宅地に草取りに。そうしたらコスモスの芽が、か弱くあちこちに咲くかなど、気になり通い眺めていました。

初秋になると宅地跡一面に、私の名づけた「小さいコスモス園」が出来ていました。手間暇掛からないで咲き満ち、喜びのあまり「あっぱれ」と声が出ました。…ひとりよがりかな。

早朝には太陽に向き、一斉に直立不動で朝露をうけ、ほほ笑

ましく咲いている花々に、この朝知人と道連れをしたので小さいコスモス園に誘いました。知人は、お花に詳しい方なのでラッキーでした。2人で澄み切った秋空の朝、コスモスを眺めたのもうれしかったです。

私は興味しんしんで、午後はどうかなと、3時ごろ出かけました。やっぱり西日を向いて朝のように咲き満ちていました。震災では大きい痛み、困難を乗り越えてきました。宅地跡の原型が残っていますので、心休めにとときどき通っています。

遅ればせながら79歳になって、コスモスの性を知ることが私の大きい宝ものになりました。風雨で花も散り一日まじに晩秋に近づいています。

個々の色

赤白ピンクと咲き満ちて
人和ませて風に散りゆく
菊地 サカエ(織笠・79)



町長室から

八幡宮と大杉神社のお神輿について回った。私なんぞは13日の朝から気もそぞろである。物心ついた時から毎年この気分。八幡宮の宵宮祭で笙の音が我々を神様にいざなうような雰囲気が好きだ。この時ばかりは酒は日本酒が似合う。みんな笑顔である▼翌日神輿が神社を出る。神を戴く舍人も男ぶりが上がって見える。そして15日は4年ぶりの大杉神社の神輿、それを見て涙を抑えられない多くの人がいた。4年ぶりに担ぐ舍人が神輿を一層引き立たせる。担ぎ手によってもそれぞれの神輿から受ける印象が違ふ。担ぎ手は、神輿が神社に収まる時には連帯感と達成感が重なり何とも言えないものがあるのだろう。これは踊りの団体にも共通することだろう▼大杉神社の神輿が無事収まり、私はそそくさと帰宅。風呂に入りビールを飲みながらお煮しめを食べ一人満足し議会中なので早めに床に就く。

山田町長 佐藤 信逸

立冬



春は「桜」、秋は「紅葉」。晩秋の野山を燃えるような紅葉に染める紅葉前線が、北から南へ急ぎ足で駆けおりて行くのを追いかけるかの様。暦の上では、

二十四節気の立冬が十一月七日になっております。十一月初旬であります。もう冬に立つと言う事です。体感的には「ピン」と来ない感じですが、間もなくあの無情な寒い北風の吹き荒れる冬の季節を迎えなくてはと思うと、ぞっとするのは私一人でしょうか？

年老いた我が身には、除雪作業は年々身にこたえる作業です。それでも内陸地方に比べれば、同じ除雪作業でも少ないことには助かります。年中に数日か、数回しか行わない訳ですから。一方、内陸地方では冬期になれば、屋根からの雪下ろしから通

路の除雪と、毎日除雪との戦いです。

その戦いの中で屋根からの落雪などでの事故もあるので、せめてそのような事故のないことを祈りたいものです。いずれにしても一年のめぐりは早いもので、残す日数は少なく、来月は十二月(師走)。正月を迎える心の準備と健康に気を配り、さまざまな世相を、生きたことし一年を無病息災に過した事に感謝します。

これから先も、家内安全と交通安全を祈りつつ、われらが町山田が平穏無事であることを...

西館 隆(船越・81)

道の駅などで11月1日から山田祭のDVD発売します



ことしの山田祭の映像を収めたDVDを11月1日から発売します。あの時の熱い鼓動を味わいたい方はお手元にどうぞ。さらに、本DVDには昭和47年の山田祭を8ミリフィルムで撮影した映像も収めています。一代前の八幡宮神輿の貴重な姿も見ることができますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

なお売上金については、山田祭の運営費に使用します。
▷販売場所 ▶道の駅やまだ▶山田八幡宮▶ビジネスインやまだ▶甲斐谷床屋(八幡町)
▷販売額 3,000円

齊藤秀喜(☎090-1492-0878)

イラストコーナー



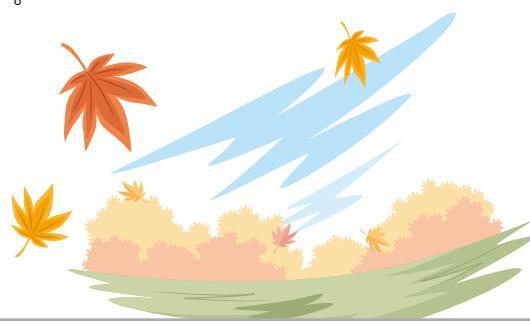
西館晴輝(船越・12)



ふもう(織笠・?)



まけこ*もつなべ(大浦・13)



やまだ文芸広場

・偶^{たま}さかの 娘の電話に 癒さる、
心老いしに 気付きたる時

・移り来し 街路樹の実の ナナカマド
赤く染りし 四度目の秋

沢まさ子(山田・?)

・秋の虹 消えては生るる 二度三度

・しみりと 淋しいなどと 語られて
いみのわからぬ 泪がこぼる

内館 洋一(飯岡・71)

秋を眺めて...

秋深き...

秋の紅葉を眺めて...

穏やかな秋の海を眺めて...

山田福幸の秋を眺めて...

佐藤 啓子(船越・36)